

GRADE エビデンス・プロフィール

著者: Elie Akl, Holger Schunemann

作成年: 2008-02-19

疑問: 非経口的抗凝固療法は癌患者の生存延長のために使用すべきか

セッティング: 外来患者

参考文献: Akl EA, et al. Parenteral anticoagulation for prolonging survival in patients with cancer who have no other indication for anticoagulation. The Cochrane Database of Systematic Reviews. 2007 issue 3

質の評価 (Quality assessment)							結果の要約 (Summary of findings: SoF)				質 (Quality)	重要性 (Importance)
研究数	デザイン	研究の限界 (Limitation)	非一貫性 (Inconsistency)	非直接性 (Indirectness)	不精確さ (Imprecision)	その他	患者数	効果	相対 (95%CI)	絶対		
12ヶ月後の生存 (追跡研究)												
5	RCT	深刻な (serious)限界なし ¹⁾	深刻な (serious)非一貫性なし	深刻な (serious)非直接性なし ²⁾	深刻な (serious)不精確さなし	なし	339/586 -57.80%	60% ³⁾ 71.4% ³⁾	RR 0.87 (0.8-0.95)	78 fewer/1000 (30 fewer~120 fewer/1000) 93 fewer/1000 (36 fewer~143 fewer/1000)	⊕⊕⊕⊕ 高	重大 (critical)
全生存 (24-84か月追跡時の研究)												
5	RCT	深刻な限界なし ¹⁾	深刻な非一貫性なし	深刻な非直接性なし	深刻な不精確さなし	なし	477/586 -81.40%	85%	HR 0.77 (0.65-0.91)	82 fewer/1000 (28 fewer~141 fewer/1000)	⊕⊕⊕⊕ 高	重大 (critical)
深部静脈血栓症 (DVT)												
2	RCT	深刻な限界なし ¹⁾	深刻な非一貫性なし	深刻な非直接性なし	非常に深刻 ⁴⁾	報告バイアス ⁵⁾	1/232 (0.4%)	1% 4%	RR 0.61 (0.08-4.91)	4 fewer/1000 (9 fewer~39 more/1000) 16 fewer/1000 (37fewer~156 more/1000)	⊕○○○ 非常に低	重大 (critical)
大出血 (major bleeding)												
3	RCT	深刻な限界なし ¹⁾	深刻な非一貫性なし	深刻な非直接性なし	深刻 ⁴⁾	報告バイアス ⁶⁾	8/406 (2%)	1.50% 10%	RR 1.50 (0.26-8.6)	7 more/1000 (11 fewer~117 more/1000) 50 fewer/1000 (74 fewer~780 more/1000)	⊕⊕○○ 低	重大 (critical)
小出血 (minor bleeding)												
3	RCT	深刻な限界 (-1)	重要な非一貫性なし	深刻な非直接性なし	深刻 ⁴⁾	報告バイアス ⁶⁾	14/380 (3.7%)	1.30% 5%	RR 2.07 (0.78-5.51)	14 more/1000 (3 fewer~59 more/1000) 53 more/1000 (11 fewerから 226 more/1000)	⊕⊕○○ 低	重要 (important)

- 1) 5件の試験のうち一つで割付の隠蔽が不明確なだけで、エビデンスの質は下げない。
- 2) 研究では、異なる低分子ヘパリン(LMWH)を使用、しかし研究間にわたる結果の類似性において非直接性がありそうではない。
- 3) 5件の研究における対照群リスク(12か月時点)は、71.4%, 69.8%, 59.2%, 60%。下から2番目に低いもの、上から2番目に高いものを推定値とした。
- 4) 信頼区間は無視できる効果(negligible effect)と、相当な利益(appreciable benefit)あるいは相当な害(appreciable harm)を含んでいる
- 5) 5研究のうち、DVTの報告は2研究のみ。そのためアウトカムが選択的に報告されていると推定した。研究の著者らからは追加資料の提出はなかった。
- 6) 5研究のうち、大出血の報告は3研究。そのためアウトカムが選択的に報告されていると推定した。研究の著者らからは追加資料の提出はなかった。